

ひとりで屋久島

【山行日】2014年11月1～4日

【交通・費用】飛行機、高速船、バス 約 100,000 円

【メンバー】単独

11月1日

【コースタイム】

小山 5:10＝羽田空港 7:20～8:15(JAL1863)＝鹿児島空港 10:20～11:00 空港バスで

鹿児島港高速船乗場へ移動 12:30(昼食)～13:10～宮之浦港 15:00(素泊まり民宿ふれんど)

ひとりで屋久島となった。ちょっと寂しいが、でも、これも良い。予定通り飛行機、高速船を乗り継いで宮之浦へ。船を下りるとさすがにむっつと来る。民宿まで知らない土地で地図を頼りにふらふらと。

民宿は一部屋にベッドが上下3個ずつ共同のお部屋でした。3000円なり。前払い。

今回は、船で入ったが、時間ももったいないなら飛行機がおすすめ。鹿児島経由だけでなく、大阪を經由するものなどあって、よく検討すべきであった。

屋久島第1日目、今日開店という「若大将」という店に。従業員の何人かはガイドさんとのことでした。三岳を味わって満足。

11月2日

【コースタイム】

宮之浦バス停 4:30＝屋久杉市自然観乗り換え＝荒川登山口 6:00～6:20—小学校跡地 7:20—

三代杉 8:15—大株歩道入口 9:15～9:30—ウイルソン株 9:56～10:04—縄文杉 11:30—

高塚小屋 11:40～11:50—新高塚小屋 12:55

宿の向かいが宮之浦のバス停。その前に山弁当の店がある。便利である。安房の屋久島自然館で登山バスに乗り継ぐ。若干の待ち時間がかかる。5時過ぎであるのに大変な人、人である。荒川登山口でやっと空が白みかけてくる。ここから、単調なトロッコ道を歩く。自分の足の遅いのに改めて気がつく。急いで行っても長丁場、無理をすることはない。でも大半の人たちは縄文杉往復の9時間コースであるから大変だ。深い森と足の下の急流の水音を聞きながら進む。



着く。先着2名のパーティーのみ。片隅にシェラフを広げ陣取る。後になってこれが正解。寝る頃には、足の踏み場もないほどに混んできた。座って寝ている人もいる状態。早出、早着きが鉄則です。



大株歩道入口から、やっと山道、急登が始まる。もう、行列状態で進むしかない。ウイルソン株、根元に潜りハート型を確認する。縄文杉、ウッドデッキに囲まれて、幾重にも人垣、交代での写真撮影、感激もそこそこに通過する。

高塚小屋は新築されたらしく3階建てのようで、小さいが住みやすそうで立派だ。ここで止まりたい気分だが、あすの日程を考えると新高塚小屋まで行かなくてはならない。

ここからは、ひとりで静かに歩くことができる。縄文杉には及ばないが立派な杉や、お肌つるつるのヒメシャラの大木。ゆったりと楽しむことができた。13時ちょっと前に新高塚小屋に

11月3日

【コースタイム】

3時起床 4:55 発—坊主岩 5:53—平石 6:30~6:35—焼野三叉路 7:20—宮之浦岳 8:05~8:10—栗生岳 8:27—黒味岳分岐 10:30—花之江河 10:45~11:00—淀川小屋 12:30~12:40—淀川登山口 13:20—紀元杉 13:40~14:50—安房合庁前—宮之浦 17:00

今日は宮之浦岳を越えて淀川小屋、紀元杉と下り、14:50 のバスに乗る必要がある。3 時には起きて、暗闇でラーメンを流し込んでの朝食。5 時前には出発する。でも、真っ暗。自分のヘッドライトの光量は頼りない。電池を交換したが、変わらない。仕方なく、ゆっくりゆっくり道を確認しながら登る。木の階段が出てくるとほっとする。道を間違えていない。しばらく行くと、ガイドさんを先頭にした4名のパーティーに追いつかれる。ほっと一息である。さすがガイドさんのヘッドランプは光量がある。自分のヘッドランプも



買え換える必要がある。

平石あたりまで来るとやっと白みかける。樹林が途切れると強い風が吹き付ける。雨は降っていないが、霧でぬれるような感じがする。レインウェアの上着を羽織る。

焼野三叉路、永田岳が見えるはずであるが、ガスと風で全く視界がきかない。宮之浦岳へは花崗岩ののっぺりとした大きな斜面を登る。木の階段が空中にかかっている。風が強く、飛ばされそうになる。はしごにしがみついてよじ登り、やっと山頂。記念写真を撮って、早々に下山開始。栗生、翁、安房とヤクザサと屋久杉、花崗岩の庭園を期待していたが、ガスの中。わず



かにほんの瞬間、ガスが流れて山腹を垣間見せる。花之江河にてほっと一息、昼食とする。ヤクシカも出てきて湿原の枯れ草を食んでいる。

ここからは下りだけれど、少しのアップダウンを繰り返し、下ってゆく。淀川小屋は、結構大きく立派な山小屋だ。次回は利用することになるだろう。

淀川登山口からは、アスファルト道を 20 分ほどで紀元杉のバス停だ。紀元杉はバス停から 100mほど行ったところ。ゆっくりをご挨拶をしました。



11月4日

【コースタイム】

宮之浦バス停 8:09(まつばんだ交通バス) =
白谷雲水峡 8:35~8:35—弥生杉 9:15~9:20—返換点 10:05
—白谷雲水峡バス停 10:55~11:40=宮之浦=安房港=
鹿児島港=天文館=鹿児島空港 18:00~19:30=
羽田 21:00=小山 23:00



最終日、午前中に白谷雲水峡を歩く。朝一番でゆっくりと歩いた。弥生杉、雲水峡の流れすてきでした。1日目の居酒屋さんにいたガイドさんに会いました。空身で背負子を背負って登

ってきました。トイレの尿尿を20Lのポリタンクで背負い下ろすそうです。何人ものそうした人とすれ違いました。雲水峡のバス停前には、町の軽トラにポリタンクが積み込まれていました。こうした努力で観光、自然遺産が保たれている。

最終的に、また屋久島に来たいと思った。

仙石 記